



ながはま



だより

Vol. 51

平成30年11月1日発行  
発行：長浜市議会  
編集：広報広聴委員会

平成30年第3回定例会が9月3日から10月2日まで(30日間)の日程で開催されました。

|                               |        |
|-------------------------------|--------|
| 新役員等が決まりました／議長・副議長就任あいさつ      | 2面     |
| 決算特別委員会報告／森田義人前議長の逝去について      | 3面     |
| 常任委員会での審査をお知らせします             | 4～5面   |
| 市政を問う（質問内容一覧）                 | 6面     |
| 各党派代表による主な質問事項と答弁内容           | 7～9面   |
| 議員個人による主な質問事項と答弁内容            | 10～17面 |
| 議会だより表紙の写真・イラスト等を募集します！       | 17面    |
| 議案等に対する各議員の賛否／議会の予定／お知らせ／編集後記 | 18面    |

# 新しい所属委員決まる

## 議員役員等一覧表

|                          | 【議長】 松本 長治                     | 【副議長】 西邑 定幸             | 【監査委員】 吉田 豊   |  |
|--------------------------|--------------------------------|-------------------------|---|--|
| 総務教育常任委員会                | 9名<br>正副<br>柴田 光男<br>佐金 利幸     | 浅見 信夫<br>山崎 正直          | 伊藤喜久雄<br>矢守 昭男<br>押谷與茂嗣<br>吉田 豊<br>鋒山 紀子                  |  |
| 健康福祉常任委員会                | 9名<br>正副<br>轟 保幸<br>鬼頭 明男      | 草野 豊<br>藤井 登            | 高山 亨<br>松本 長治<br>竹本 直隆<br>宮本 鉄也<br>中川 勇                   |  |
| 産業建設常任委員会                | 8名<br>正副<br>中川リョウ<br>中嶋 康雄     | 斉藤 佳伸<br>西邑 定幸          | 千田 貞之<br>丹生 隆明<br>多賀 修平<br>西尾 孝之                          |  |
| 予算常任委員会                  | 26名<br>正副<br>竹本 直隆<br>浅見 信夫    | (全議員)                   |   |  |
| 議会運営委員会                  | 8名<br>正副<br>草野 豊<br>轟 保幸       | 浅見 信夫<br>柴田 光男          | 伊藤喜久雄<br>中嶋 康雄<br>鬼頭 明男<br>佐金 利幸                          |  |
| 広報広聴委員会                  | 12名<br>正副<br>鋒山 紀子<br>矢守 昭男    | 鬼頭 明男<br>中川 勇<br>宮本 鉄也  | 千田 貞之<br>中川リョウ<br>山崎 正直<br>多賀 修平<br>丹生 隆明<br>高山 亨<br>藤井 登 |  |
| 長浜水道企業団<br>議 会 議 員       | 9名<br>押谷與茂嗣<br>竹本 直隆           | 鬼頭 明男<br>中川リョウ          | 柴田 光男<br>松本 長治<br>千田 貞之<br>宮本 鉄也<br>多賀 修平                 |  |
| 湖北広域行政事務<br>センター 議 会 議 員 | 12名<br>浅見 信夫<br>柴田 光男<br>松本 長治 | 伊藤喜久雄<br>千田 貞之<br>矢守 昭男 | 草野 豊<br>中嶋 康雄<br>斉藤 佳伸<br>西尾 孝之<br>佐金 利幸<br>鋒山 紀子         |  |
| 湖北地域消防組<br>議 会 議 員       | 12名<br>草野 豊<br>中川リョウ<br>山崎 正直  | 斉藤 佳伸<br>西邑 定幸<br>矢守 昭男 | 高山 亨<br>丹生 隆明<br>轟 保幸<br>藤井 登<br>中川 勇<br>松本 長治            |  |
| 長浜・米原市議会<br>連絡協議会 委員     | 8名<br>斉藤 佳伸<br>藤井 登            | 佐金 利幸<br>松本 長治          | 竹本 直隆<br>宮本 鉄也<br>中川リョウ<br>西邑 定幸                          |  |
| 敦賀・長浜・高島<br>三市議会協議会 委員   | 7名<br>松本 長治<br>中川リョウ           | 西邑 定幸<br>竹本 直隆          | 草野 豊<br>柴田 光男<br>轟 保幸                                     |  |

### 議長・副議長就任あいさつ



議長 松本 長治



副議長 西邑 定幸

この度、議員各位のご推挙を賜り、議長・副議長に就任いたしました。身に余る光栄でありますとともに、現在の地方自治を取り巻く情勢を考えると、改めて責任の重大さに身の引き締まる思いであります。この重責を果たすため、渾身の努力を傾注してまいりますと考えております。

さて、現在は地域主権、地方分権の流れが加速し、地方自治体の裁量や果たすべき責任はより一層大きくなってまいります。また、市民の皆さんの福利向上のため、議会の果たす役割はますます重要になっており、議決機関として最良の意思決定が求められています。

本市議会は、市長及び執行機関とともに、二元代表制のもと、市民の福利向上を使命として活動しております。また、議会が担う責務を果たすため、議会改革を今まで以上に推進するとともに、議員個人の能力向上のため積極的に研鑽を行います。

引き続き市民の皆さんに期待され、その期待に応えられる議会を目指し、努力を続けてまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

# 決算特別委員会報告

第3回定例会で付託された決算議案（議案第111号～118号までの8件）について審査を行い、全員一致あるいは賛成多数で認定すべきものと決しました。審査内容（概要）については、次のとおりです。

## —特に付言すべきとされた事項—

- 「主要施策の成果・決算調書」には、必要性や補助件数、補助先を明確に記載されたい。  
また、不用額の説明を明確に記載いただくことで、翌年の予算編成にその成果をしっかりと反映させ、市民の貴重な税負担への説明責任を果たせるようにしていただきたい。
- 学校の適正規模・適正配置については、子どもたちの幸せを最優先に考え、地域の実情や願いを十分に踏まえたうえで、早急に合意形成を進める必要があるため、教育委員会だけでこの取り組みを進めるのではなく、市民の代表である議員と連携・協力し、歩調を合わせて、一刻も早く解決すべく取り組まれるよう求める。

## —審査過程における意見等—

- 平成27年の決算審査報告において、「加速度的に市民の目に見える形で改革を進めていかれるように」と付言した行財政改革の取り組みは充分とはいえない状況であり、将来に向けた持続可能な行財政運営を確立するために、いっそうの取り組みを求める。
- その他、改良住宅の譲渡については、自治会長等、地元の意向を十分聞き、募集要項に反映されたいこと、余呉地域等本市北部の自然を活用した観光資源の掘り起こしを行うとともに、更なる観光客誘致に努められたいこと、環境保全型農業直接支払交付金については、今後とも国の支援が継続されるよう求めていただきたい。



## 森田義人前議長 逝去



長浜市議会の森田義人前議長（69歳、会派清流）が、本年8月12日に逝去されました。

森田前議長は高月町議会議員を経て、平成22年8月から長浜市議として3期8年にわたり市政発展のためご尽力されました。

この間、議会運営委員会委員長など要職を歴任され、本年8月9日には議長に就任されたばかりでした。

ここに哀悼の意を表し、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

# 各常任委員会の報告

第3回定例会で付託された議案14件・請願4件について審査を行いました。

## 長浜市子ども未来教育基金条例の制定について等を審査

総務教育常任委員会

当委員会に付託を受けました議案5件については、慎重審査の結果、いずれも全員一致で可決すべきものと決し、請願2件については、いずれも賛成少数で不採択と決しました。

▼標記の議案は、子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むための財源確保を目的とする基金を新設するものです。教育環境を向上させ、基金をより生かすために、学校の適正規模・適正配置については優先して取り組むべき地域・学校を精査し、地域の合意形成に向けた取り組みを早期に実施するよう求めました。議案第123号は、寄附者の意向をより反映できるように改正するものです。

▼議案第124号は余呉まちづくりセンター、議案第125号は浅井ふれあいグラウンドトラックの改修について工事請負契約を締結するものです。

▼議案第135号は、台風21号に伴う暴風に起因する損害賠償の額を定めることについてです。

▼請願第6号は、「2019年10月消費税10%実施の中止を求めることについての請願」、請願第7号は、「政治倫理条例の制定を求める請願」です。

## 平成29年度長浜市病院事業会計決算の認定等を審査

健康福祉常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、標記議案など3件であり、慎重審査の結果、いずれも全員一致で認定・可決すべきものと決し、請願1件については賛成少数で不採択と決しました。

▼議案第119号は、平成29年度長浜市病院事業会計の決算について認定を行ったものです。3年連続の赤字となっていくことから、長浜市病院事業中期経営計画の数値と取り組み施策をしっかりと守りながら、経営に尽くすよう求めました。

▼議案第120号は、平成29年度長浜市老人保健施設事業会計の決算について認定を行ったものです。

▼議案第122号は、コンビ二等に設置の多機能端末で交付できる証明書に、戸籍証明書・附票の写しを追加することから、その交付手数料を設定するため、条例を一部改正するものです。

▼請願第5号 「子ども医療費助成制度の拡充を求める請願」は、賛成少数で不採択とすべきものと決しました。

▼その他、議案以外の協議事項として、「施設使用料等の見直し」について、当局から説明を受けました。

## 市道の路線の廃止及び認定等について審査

産業建設常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、標記議案など2件であり、慎重審査の結果、いずれも全員一致で可決すべきものと決し、請願1件については、全員一致で採択と決しました。

▼議案第126号 市道の路線の廃止及び認定については、市道2路線の廃止と10路線の認定を行うもので、一部については現地調査を行った後、審査しました。

▼議案第122号 長浜市手数料条例の一部改正については、建築基準法の一部改正に伴い、新たに認定及び許可手続が追加されることから、手数料の規定を追加するため改正するものです。

▼請願第8号「中心市街地への入込客数の増加を求める請願」は、中心市街地への入込客数の増加について検討を行う機関の設置を求めるものです。

▼その他、議案以外の協議事項として、「施設使用料等の見直し」について、当局から説明を受けました。



市道認定の現地調査

# 予算常任委員会審査報告

▼当委員会に付託を受けました議案は、議案第107号 平成30年度長浜市一般会計補正予算(第7号)等の5議案です。

9月18日から25日にかけて開催した総務教育、健康福祉、産業建設の各分科会の内容をもとに、28日に総合的な審査を行いました。

追加議案については、10月2日に分科会及び全体会で審査を行い、その結果、全員一致により全議案を可決すべきものと決しました。

## ◎委員からの意見や指摘、議論された事項の中で、特に付言すべきと考えられた事項

○平成30年度長浜市一般会計補正予算(第7号) (議案第107号)

大阪の地震に端を発し、本市においても改修が必要となったブロック塀が多数存在する。この予算執行に当たっては、各課、各施設ごとに執行するよりも、効率的な改修実施や経費の低減が期待できる一括発注等の対応を検討されたい。

○平成30年度長浜市一般会計補正予算(第7号) (議案第107号)

○平成30年度長浜市公共下水道事業会計補正予算(第2号) (議案第110号)  
 工事発生土等の処分にかかる運搬については、営業許可を取得した車両を使用するなど適正な運搬に努めるとともに、搬入の際は、車両のフロントガラス等の確認できる箇所へ、この工事発生土等を搬入しているのか明示するよう。

○平成30年度長浜市農業集落排水事業特別会計補正予算

(第2号) (議案109号)

農業集落排水施設の改修及び維持管理等において、問題等が発生した場合は早い段階で議会に対し情報公開を行うとともに、市民に対し説明ができるよう管理に努めたい。

○平成30年度長浜市一般会計補正予算(第8号) (議案第134号)

台風21号の被害に関する小谷城スマートーOC栽培実験農場のビニールハウスの補修等については、民間の保険加入等も検討すべき。公共施設の修繕については、同じやり方ではまた同じような破損を起し、再び近隣へ迷惑をかけることになりかねない。そのようなことがないように、施工の仕方をよく考えて行いたい。



## その他、分科会での審査過程の主な質疑

○平成30年度長浜市介護保険特別会計補正予算(第1号) (議案第108号)

Q. 介護保険料の積算や基金運用に対する見解について

A. 介護保険料は、3年を1期とした介護保険計画の中で決定しており、高齢者の伸び率、介護認定の伸び率、サービスの利用状況、施設整備等の状況を踏まえ、予測し、算定しているが、給付が見込みより低かったこともあり、結果的に保険料が少し高かった。

第8期においては、収支の状況を踏まえ、基本的には3年間の収支均衡ということを前提に、過剰な保険料設定にならないように努める。

また、基金の積み上げについては、国の通知に基づき介護保険全体の状況において一定程度の基金は維持しつつ、3年間の収支均衡の考えのもとで運営してまいります。



# 市政を問う

今定例会では、会派代表6名・個人15名の議員が質問に立ちました。

## 会派代表質問

※下記の質問項目のうち、太字部分について要約し、7～9ページに掲載しています。

- 政友会（轟 保幸議員）
  - ①豪雨災害対策について
  - ②人口流出抑制と魅力あるまちづくりについて
  - ③地球環境にやさしいまちづくりについて
  - ④林業と森林の活性化に向けての取り組みについて
  - ⑤学力調査の結果と分析について
  - ⑥本市の選挙制度について
- 改革ながはま（柴田 光男議員）
  - ①長浜市総合戦略について
  - ②災害被害防止対策について
  - ③教育問題について
  - ④長浜市観光振興ビジョンについて
- 日本共産党 長浜市議団  
（浅見 信夫議員）
  - ①財政運営と市民要求について
  - ②残土条例等について
  - ③しょうがい者雇用促進等について
  - ④市議会選挙の投票率について
  - ⑤政治倫理の確立について
  - ⑥地方創生と公共施設等総合管理計画について
  - ⑦市長の政治姿勢の基本について
- 清流（伊藤 喜久雄議員）
  - ①長浜市の総合計画について
  - ②地域コミュニティの醸成について
  - ③南長浜地域のまちづくりについて
  - ④就学前教育について
  - ⑤企業誘致と地域産業振興について
- 新しい風（竹本 直隆議員）
  - ①長浜市議会議員一般選挙について
  - ②小谷城スマートIC周辺6次産業化拠点創出事業について
  - ③長浜市の公共看板のマニュアル化について
  - ④教育環境について
  - ⑤農業委員会の業務運営について
  - ⑥下水道会計の適正化について
- 公明党（鋒山 紀子議員）
  - ①高齢者のフレイル（虚弱）予防について
  - ②A Y A（思春期・若年成人）世代のがん対策について

## 個人一般質問（質問者順）

※下記の質問項目のうち、太字部分について要約し、10～17ページに掲載しています。

- 宮本 鉄也議員
  - ①西浅井地区、おでかけワゴンについて
  - ②防災無線の再整備計画について
- 高山 亨議員
  - ①福祉職の人材確保とその支援策について
  - ②しょうがい者福祉の充実に向けた支援策について
  - ③学校給食施策の充実について
  - ④子ども医療費の公費負担について
- 斎藤 佳伸議員
  - ①市長不倫問題について
  - ②農業問題について
  - ③デマンドタクシーについて
  - ④防災情報伝達システムのデジタル化計画について
- 押谷與茂嗣議員
  - ①職員力向上に向けた取り組みについて
- 千田 貞之議員
  - ①駅、駐輪場の放置自転車について、撤去並びに、今後の対応策を問う
  - ②北部地域総合体育館建設に伴い、解体されるプールの代替施設建設計画を問う
  - ③賤ヶ岳リフトについて
  - ④台風21号の被害について
- 草野 豊議員
  - ①健康都市宣言について
  - ②空き家等の対策について
  - ③しょうがい者雇用について
- 中嶋 康雄議員
  - ①医療連携と医療課題について
  - ②いじめ対策について
  - ③仮称・神田スマートインター設置について
  - ④事前防災行動計画について
  - ⑤教育で選ばれるまちについて
- 西尾 孝之議員
  - ①市長という特別職について藤井勇治個人の意見について
  - ②市長の不倫問題の認識について
- 佐金 利幸議員
  - ①放課後児童クラブについて
  - ②長浜中央公園について
  - ③旧長浜北高の跡地について
- 藤井 登議員
  - ①市立長浜病院の現状について
  - ②がん教育について
  - ③学校教育について
  - ④市民プールについて
- 中川 勇議員
  - ①地域実情等に寄り添った防災（減災等）対策について
  - ②地元企業等の事業拡大（設備投資等）支援及び企業誘致について
  - ③長浜駅周辺駐車場の1時間完全無料サービスについて
  - ④長浜中央公園整備事業について
- 中川リョウ議員
  - ①防災対策について
  - ②除雪について
- 鬼頭 明男議員
  - ①ブロック塀の安全確保について
  - ②熱中症対策について
  - ③学校給食における食物アレルギー対応について
  - ④災害での避難所の生活環境・健康管理について
  - ⑤台風21号の被害と防災支援について
- 矢守 昭男議員
  - ①教育環境の充実に向けた取り組みについて
  - ②保育士の確保について
  - ③浅井歴史民俗資料館と学校教育との連携について
  - ④公共施設、跡地の利活用について
  - ⑤通学路と学校施設の安全性確保について
  - ⑥不登校の子どもへの実態対応と適応指導教室での支援について
- 丹生 隆明議員
  - ①北部地域の過疎化対策について



政友会

(轟 保幸 議員)

◆豪雨災害対策について

問 今年の七月豪雨災害に対し、昨年の災害の教訓をどのように生かされたのか問う。

答 昨年の台風被害の災害対応の経験から、市の職員体制は、部局の次長を防災員とし、部の災害対応を総括することとし、また、各支所地域のパトロールを専門に行う地域派遣職員を設け、情報収集体制の強化を図りました。

問 七月の豪雨災害対応については、昨年の経験を生かし、多くの部分はスムーズに対応できたと考えています。しかしながら、大規模な土砂崩れ等初めての事象も経験し、今後十分検証し、次に生かしてまいります。

問 七月豪雨で市内中小河川、普通河川、法定外水路に土砂流出が多発しているが、市の対応はどうか問う。

定外水路改修等補助金」を活用いただき自治会対応をお願いしています。  
答 なお、河川の規模と緊急度を考慮し浚渫工事を実施しています。今後とも市民の皆様への安心安全を確保するため適切な河川管理を行うてまいります。

◆人口流出抑制と魅力あるまちづくりについて

問 長浜南部で人口流出抑制機能を持たせた「田村駅を中心としたまちづくり計画」も始動しているが、最近、南長浜地域の発展と次世代に向けたまちづくりの一環として、北陸自動車道神田パーキングエリアにスマートインターチェンジ設置の要望が、南長浜地域の皆さんから市長としてどのように受け止められたのか問う。

答 本市では、総合計画や都市計画マスタープランで「市南部地域の人口流出を止めるダム機能と流入を受け入れる機能を持つ都市拠点としてのまちづくりを進めている中で、今回の要望と市の取り組みが連携することが望ましく、スマートインターチェンジの設置は、南長浜地域のまちづくりに大変有効な手段であると考えており、事業採択に向けて準備を進めてまいります。

◆地球環境にやさしいまちづくりについて

問 最近、本市の県境における大規模な風力発電所の計画段階配慮書が縦覧されているが、この計画に対する市の考えはどうか問う。

答 市としては、再生可能エネルギーの導入を推進しており、風力発電は二酸化炭素を排出しないため、地球温暖化防止に貢献する再生可能エネルギーの一つと考えています。一方騒音及び低周波、動物や植物、生態系、周辺住民の生活などへ重大な影響がないか慎重に見極める必要があり。市の環境審議会など関係機関の意見を聞きながら市の考え方を整理していきます。



改革ながはま

(柴田 光男 議員)

◆長浜市総合戦略について

問 長浜市の人口ビジョンについて問う。

答 産業振興、創業支援などによる新たな雇用創出と次世代成長産業の振興、また、地域力のブランド化・移住定住の促進に取り組んでおり、特に子育て支援として、学校給食費の無償化・多子世帯への保育料無償化などの施策を実施しています。

問 地域資源を生かした産業の創出や、企業誘致活動の推進を図っていますが、労働力確保が喫緊の課題となつていきます。

問 小谷城スマートインスターを活かした地域経済の活性化について問う。

答 バイオ技術や地域力を活用し、農業振興と合わせ、交流人口の増大や農工商連携による地域経済の活性化を図り、「農」を核とした6次産業化拠点整備を進めます。  
問 災害被害防止対策について  
答 大雨洪水被害対策に  
問 復旧対応として2回の専決補正予算措置を行いました。災害復旧が万全に進行するよう対応します。  
問 避難所について問う。  
答 避難所運営の研修や防災講話について、子どもから大人まで幅広く対応しています。今後は、さらに多くの方に参加していただけるよう工夫し、また、避難所生活の長期化によるエコノミー症候群や感染症等の予防について、啓発を進めます。  
問 全国学力テスト結果と今後の取り組みについて問う。  
答 全国平均を下回ったことに対して、重く受け止め、これまでの施策について十分検証を行い、成果と課題を踏まえ、たうでより充実したものにしていきたいです。  
問 小中一貫教育の現状と課題について問う。  
答 余呉小中学校では「豊かなつながり」を基本方針として全職員が一丸となって教育活動にあたり、児童生徒

も生き生きと学校生活に取り組んでいます。課題としては、全職員が従来の小・中学校としての経験や取り組みといった枠から脱却し、新しい学校づくりを目指します。  
問 自転車連転教育(ながら連転事故防止等)について問う。  
答 各学校において安全教育を実施しており、今後とも保護者と連携してしっかり取り組んでいきます。  
◆長浜市観光振興ビジョンについて  
問 観光資源の付加価値向上について問う。  
答 「稼げる観光への転換」を基本方針とし、多くの地域資源を融合・連携し着実な推進を図ります。  
問 観光消費額の向上について問う。  
答 本市の観光客の94%が日帰り観光客であり、今後は様々な取り組みを進めることで宿泊滞在型観光への転換を進めます。





日本共産党長浜市議員団（浅見 信夫 議員）

◆財政運営と市民要求について

問 市財政の資金繰りの経年変化を見ると、財政調整基金も取り崩すことなく、実質収支は黒字で推移している。

また、一般財源の総額はほぼ確保されており、市債の繰上償還により、将来にわたる財政負担を減少させ、基金は増やしている。

市はこの間、行財政改革や公共施設の再編など、市民や職員にとって痛みを伴う改革を行い、市民の暮らしも大変さが増している。市の財政状況を勘案すると、運営の仕方でも市民サービスの拡充や市民負担の軽減に対応することは可能である。

市民の願いに応えた財政運営の取り組みについて問う。  
答 人口減少対策として、小学校の給食費無償化などの子育て支援施策に力を入れてきました。

将来にわたって持続可能で健全な財政運営に努めます。

問 中心市街地活性化に伴う事業や、消防本部庁舎建設負担金等の大型建設事業の実施により、決算規模が拡大している。

今後の財政運営において、投資的経費を計画的に見直すことについて問う。

答 市公共施設等総合管理計画など各種計画により予定されている事業であつても、事業の必要性や優先度、施設規模の適正などを事前に評価・検討します。

問 国民健康保険料について、平成29年度の特別会計を見ると、5億7千万円の黒字で、基金が4億5千万円もあることから、保険料を引き下げるべきであることについて問う。

答 今年度は、保険料を平均世帯で6.8%引き下げました。今後、保険料の上昇を抑制するため、基金

や繰越金を活用して激変緩和対策を検討します。

問 第7期計画期間の介護保険料基準額は、第1号保険者の場合、月額6,570円となっており、さらに、7年後の平成37年度では、月額8,086円となる見込みで、保険料が際限なく引き上げられ、高齢者の負担能力を超えるものとなっている。

国に負担を求めるとともに、市は一般会計からの繰入れも含めて、介護保険料の負担軽減を図ることについて問う。

答 介護保険料の基準額の引上げが続いています。低所得の高齢者を中心に負担が重くなっていることを認識してまいります。

しかし、一般会計からの繰入れは、法で12.5%と規定され、これにより介護保険の運営を図っていきま

す。



清流（伊藤喜久雄 議員）

◆長浜市総合計画「第2期基本計画」の策定について

問 周辺の市との「広域的連携」という観点での見直しは考えているのか問う。

答 広域的に取り組んだ方が、より効果がある施策については、しっかりと議論を行い、実施に移していきたいと考えています。

問 将来的な財源不足の中で、身の丈に合った「持続可能な行政運営」について問う。

答 「スクラップ&ビルド」を図り、施策と予算のバランスのとれた持続可能な行政運営に努めていく必要があります。

◆地域コミュニティの醸成について  
問 市内425自治会のうち、限界集落が26集落、準限界集落が43集落、高齢化率70%台が4自治会、60%台が3自治会、50%台が19自治会、40%台が43自治会、少子化率0%が13自治会、自治会規模10世帯以下が7自治会、19世

帯未満の小規模自治会が35あり、地域コミュニティを今後も維持していくための「自治会再編」について問う。

答 自治会運営が危機にひんしているのも事実、真摯に膝を合わせて課題解決に向けた環境づくりをしていきます。

問 「地域づくり協議会の現状と課題、まちづくりセンターの関わり」について問う。

答 地域課題の解決に向け、市民活動センターの法人化や、地域のまちづくりに専念できる「まちづくりセンター」の機能強化を図っていきます。

問 地域づくり協議会の「地域共生社会」の実現への取り組みについて問う。

答 「様々な機関が協働して包括的に相談に応じて支援につなぐ仕組みづくりを進めていくこと」です。

◆南長浜地域のまちづくりについて  
問 「南長浜地域（圏）のグランドデザイン」

について問う。  
答 できるだけ早期に、地域の皆さんと一緒に描いていきたいと考えています。

問 「地域のまちづくり組織と行政との連携」について問う。

答 10年後に向かってどのような手法でまちづくりを進めていくのか、地域と行政が協働して検討することは重要で、地元の積極的な取り組みをお願いしています。

◆就学前教育について  
問 「幼稚園の現状と課題」について問う。

答 入園者は年々減少しており、一定規模の園児数を確保して、園運営を行うことが課題です。

問 幼稚園の「認定こども園化」について問う。  
答 10年先を見据え、民間活力の導入や認定こども園化も選択肢の一つとして進めてまいります。



新しい風

(竹本 直隆 議員)

◆長浜市議会議員一般選挙について

投票率低下を招いた要因についてどのような改善策を考えているのか問う。

答 平成28年6月に公職選挙法が改正され、選挙権が18歳から引き下げとなりました。若年層の投票率が低い水準にあることが要因の一つであると考えられ、改善策としては、特に若年層への選挙啓発や主権者教育を高め、市内高等学校の卒業式で一人ひとりに祝電や選挙啓発メッセージを送付したり、市内の小中学生を対象にした選挙啓発ポスターコンテストを開催しております。

期日前投票所の事務従事者として市内の大学生に協力をお願いするなど、若者が選挙に関心を持つ機会を設けています。  
「明るい選挙推進協議会」の委員に、市内の大学から学生を推薦してもらつことなど、若者の考えを啓発活動

に取り入れます。

◆小谷城スマートー

C周辺6次産業化拠点創出事業について進捗状況について問う。

答 市の重点プロジェクトと位置付け、部局横断的に積極的に協議、調整を進めています。本年8月に改めてヤンマー(株)の幹部の方から「長浜市は創業者の出身地でもあり、やるからには絶対に成功させないといけない」との強い表明をいただきました。

また、中日本高速道路(株)の事業計画にも向けてこの9月から3者協議(ヤンマー、市、中日本)を本格化してまいります。

◆長浜市の公共看板の

マニュアル化について問う 公共看板を統一することによって、誰もがどの地域においても理解しやすく、設置総数も把握でき景観も損ねないが、本市の見解を問う。

答 景観への配慮及び危険性防止の観点か

ら、公共的なものを言めた看板については、長浜市屋外広告物条例の運用を図っています。西宮市のほか全国の取組事例を注視し、研究してまいります。

◆教育環境について

問 学校施設管理について、浅井、余呉、虎姫の教育環境が学校統合で整備されたが、木之本の学校統合などの教育環境整備はどのようなスケジュールで進めていくのか問う。

答 「児童、生徒数が長期的に減少傾向にある学校について、学校の適正規模、適正配置について検討を進める。」という方針を持つております。

教育委員会としましては、具体的にはクラス替えのできる1学年2学級以上の学校規模を適正な教育環境と考えております。

このことを基本としながら、地域、保護者の皆様の合意を前提として教育環境を整えてまいります。



公明党

(鋒山 紀子 議員)

◆高齢者のフレイル(虚弱) 予防について

問 高齢者に対する栄養、運動、社会参加への働きかけへの取り組みについて問う。

答 高齢者の多くの方がフレイル(虚弱)を経て介護が必要な状態になると言われています。高齢者の1割がフレイル(虚弱)と言われています。今後、後期高齢者の増加に伴って増えていくことが懸念されます。

栄養につきましては、栄養改善を目的とした「元氣アップ訪問」で栄養のバランスを考えた食事の提案などの栄養指導を行っています。

運動については「転倒予防教室」が地域ごとに開催され、現在1

61か所で活動されている活動の充実や継続の支援を行っています。

社会参加の働きかけについては、「社会とつながりを失うことがフレイル(虚弱)の最初の入り口」とも言われていることから重要な取り組みと言えます。

就労機会の提供としてのシルバー人材センター、まちづくりセンターや図書館での生涯学習、老人クラブなどの活動があります。

市は、このような活動や団体が増え、長く活発に活動できるように補助事業を行ったり、関係機関と連携し支援を行っています。

問 フレイル(虚弱) 予防のための学習について問う。

答 本市においては、介護予防の出前講座においてフレイル(虚弱)の啓発を平成29年から実施しています。実績では、開催数は26回、参加者は延べ674人でした。

引き続き、地域への啓発を実施・拡大し、高齢者の介護予防活動の取り組みの増加、健康寿命延伸へつなげてまいります。

※フレイル(虚弱)とは、加齢によって身体機能や認知機能が低下し、虚弱となった状態で、健康な状態と要介護状態の間にある状態をいいます。

要介護状態へと進んでいく可能性が高い状態・期間のこと。

西浅井地区、おでかけワゴンについて



宮本 鉄也 (政友会)

**問** 長浜市地域公共交通網形成計画・平成30年3月版によると、「これからのまちづくりを進めるには、急激な人口減少や少子高齢化の進展など時代の変化に対応して、将来を見据えた地域コミュニティの活性化が必要で

**答** 現在、公共交通確保のため、長浜市においてはコミュニティバス路線として、西浅井地区で「おでかけワゴン」を運行しており、後輪駆動車を配備しております。

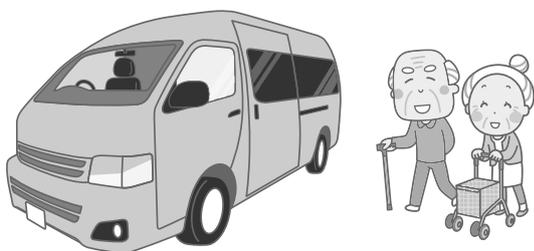
す。そのなかで、公共交通の改善・維持は、市民の移動手段を確保し、安心・安全に暮らせる環境の提供につながることも、人や物の交流・物流が増し、地域の活力を高めていくうえで無くてはならないものです。」とあるが、現実には西浅井のおでかけワゴン車両

は豪雪地区にもかかわらず、四輪駆動車ではない。その理由を問う。  
おでかけワゴンの運行に際し、駆動方式にかかわらず、積雪時にはすべてのタイヤにチェーンを装着し、安全運行をお願いしているところです。  
しかし、受託者からは特に去年の冬のような厳しい寒さや降雪が

長く続く時期の運行にかかる不安もお聞きしております。

市としては、厳しい

天候が想定される際には、予備車登録している四輪駆動の公用車で運行や、降雪時の運行運休の基準作りも言めた対応により、安心安全な運行の確保に努めてまいります。



福祉職の人材確保とその支援策について



高山 亨 (日本共産党)

**問** 人材確保の様々な取り組みや助成がなされているが、慢性的不足状態が続いている。

そのため、待遇改善

が何よりであり、保育士再就職応援金のようない切った支援策の検討も含め、市の対策・考えを問う。

**問** しょうがい者の就労について

特別支援学校の生徒や保護者が不安に思っていることから、不安が解消できるような就労支援の取り組みを問う。

**答** 介護・福祉人材の処遇改善加算制度等が設けられ、来年10月にも消費税率の引上げに合わせてさらなる制度拡充が予定されており、こうした制度改正に事業所が処遇改善加算を適正に執行しているか指導・助言に努めてまいります。

**答** 修学中から就労アセスメント、就業体験、進路の個別懇談を実施し、しょうがい者の方が持つ個々の課題に対応し、スムーズな就労や、卒業後のアフターフォローを行っております。また、福祉就労から一般就労移行に対して、計画相談事業所や作業所等との連携強化に努めてまいります。



学校給食の地元食材の活用について

**問** 長浜北部学校給食センターが二期期から稼働し、全域がセンター方式になったが、小規模自校方式の良さを引き継いで、アレルギ一対応はもちろん、地元食材をできるだけ使用していくことについて問う。

**答** 今まで通りできる限り長浜市産を利用し、入札回数を3回に増やし地元の食材を使用していきます。

中学校給食費無償化について

**問** 小学校給食費無償化は高い評価があり、義務教育という点で同じ中学校卒業まで、一気に拡充するべきではないか問う。

**答** 小学校給食費の無償化を維持充実していくことが肝要で、拡充は考えていません。

市長不倫問題について



斉藤 佳伸 (日本共産党)

**問** 12万市民の代表としての自覚を欠いており、6月議会の竹内達夫市議に続いて、市長の不倫問題・週刊誌報道について再度問う。

**答** 監査委員の結論があり、自分としては法律的に違反していません。

また、週刊誌の告訴については強く抗議しました。ただし、法的措置をとるかどうかは静観しています。

農業問題について

**問** 生産費を毎年下回る米価や補助金の打ち切り、結果として後継者難。特に高齢化の進行で、緊迫した状況にある。この長浜市の行政の認識と方針、特に大型農業中心の国の方向では問題の解決

は難しく、長浜の独自の政策を示すことについて問う。

**答** 市は、平地においては、米・麦・大豆の作付により、また、中山間地域では、集落ぐるみの活動や集落営農組織により、農地の保全を進めています。

**問** 再建の資金の利子補給は市が講ずるべきであるが、台風21号による長浜市の農業被害について問う。

**答** 9月7日11時現在、主にビニールハウス



に被害があり、125棟の被害や、4haのキャベツなど強風、浸水被害が確認されました。

に被害があり、125棟の被害や、4haのキャベツなど強風、浸水被害が確認されました。

デマンドタクシーについて

**問** 乗換えが高齢者にとって大変なことから、もつと考えるべきであり、びわ・浅井地域の更なる改善策を問う。

**答** 病院への直行については、路線の関係で困難です。

防災情報システムのデジタル化について

**問** 各自治体のコミュニケーション放送の確保について問う。

**答** 屋外スピーカーカーは、補助の対象になっても、各戸の受信機について自己負担が大きくなり、安価な通信手段を検討しています。

職員力向上に向けた取り組みについて



押谷 與茂嗣 (無党派)

**問** 「長浜市職員力・組織力開発基本方針」について、職員一人ひとりを信じ、職員一人ひとりに判断が伴う仕事を任せられるか。その結果で生じた責任を、ともに担うつもりはあるのか。また、その後問題が発生した場合、職員とともに考えて処理されていくのか問う。

**答** 市職員には、5年後・10年後の未来に市民が長浜で暮らす幸せを実感できるような、長浜市を経営する力を身につけることが求められます。

そのためには、職員一人ひとりが、市職員としての自覚と誇り、

そして長浜市のために役に立ちたい、市民のために役に立ちたいという意識を持ち、自らの職員力を高めていく努力を続けることが重要です。

自ら率先して行動できる職員力、それらを集結して発揮できる組織力により、一丸となって、長浜市の未来のために挑戦し続けながら、市民力、地域力との相乗効果を生み出せる職員を「めざす姿」として職員力向上に取り組んでまいります。

**問** 職員力向上に向けた取り組みはどのようになされているのか問う。

**答** 職員力向上に向け、主体的な学びによ

る自己研さんや研修を通じて、必要な知識や技術の取得を進めております。また、日々の業務の中で、適切な指導を行い、人材を育成していくということが、職員力を高めるために必要なことだと考えております。

職員力は所属長を中心に高めていく必要があるため、特に所属長に対して、業務進捗管理上の報告、決裁、面談等あらゆる機会を通じて、職員力向上についての指導を行っております。

指導にあたっては「一樹百穫」の心で進め、職員力を高める取り組みを進めてまいります。

駅、駐輪場の放置自転車について



千田 貞之 (政友会)

放置自転車の処分  
条例がないから？  
おかしいやろ！

**答** 現在、長浜駅以外  
は市条例に基づく市営  
駐輪場として管理して  
います。

**問** 各駅、駐輪場の放置  
自転車の撤去、並びに今  
後の方針について問う。

田村駅は、指定管理  
施設で、放置自転車は  
ありません。

現在の市条例では、  
放置自転車の処分条項  
がないため処分できま  
せん。

現在は、移動、集積  
していますが、今後、  
適正な管理に向け対応  
が必要です。

**問** 北部地域総合体育  
館建設に伴い、解体さ  
れるプールの代替施設  
建設計画を問う。

**答** 代替プール建設計  
画は、平成29年3月に  
承認された北部地域総  
合体育館整備基本計画



健康都市宣言について



草野 豊 (改革ながはま)

来年度に健康都市と  
しての宣言が予定さ  
れていますよ!!

日々の暮らしのなか  
では、健康について改  
めて考えることは少な  
く、病気になるって初め  
てその大切さに気付き  
ます。

**問** 平成29年9月議  
会で、自然環境に恵ま  
れた長浜市、結の心が  
はぐくむ長浜市、医  
療・福祉・スポーツ等  
の連携をもとに、健康  
都市宣言をしてはどう  
か質問した。

人生百年時代と言わ  
れ始め、健康で長生き  
でき、生涯現役と言え  
る人生は大変望まし  
く、願いを実現してい  
くには、行政のみなら  
ず、市民の力、そして  
地域の力が最も重要と  
考えます。

前回の市長答弁を再  
確認し、今日までの取  
り組み、気運の醸成、  
宣言の時期などについ  
て総括的に問う。

健康都市宣言は、市  
の歴史や文化、生活風  
土の上に、健康で輝け  
るまち長浜を目指す市  
民の願いを象徴するも  
のとしてまいります。

**答** 日本一の健康都市  
長浜を唱え、健康なひ  
とづくりや地域づくり  
を通じて、あらゆる世  
代の人が健康でいきい  
きと生活できるまちづ  
くりを目指していま

健康都市宣言の実効  
性という観点から、健  
康増進計画の改定を通  
じた機運の醸成と健康  
寿命の延伸を柱とした  
健康施策を検討しま  
す。

取り組みの進捗状況  
については、健康づく  
り推進協議会にて都市

宣言実施に向けた意見  
交換を行い、各団体の  
委員の皆様から都市宣  
言に対してご理解を得  
ることができました。

長浜病院と日赤病院の医療連携について



中島 康雄 (新しい風)

連携を期待  
していますー！

**問** 高度急性期機能を柱として連携を図ろうとされているが、急性期の患者に対して診療密度が特に高い医療を提供することがごまかで可能となるのか問う。

**答** 「湖北地域の高度急性期・急性期医療を考える会」を立ち上げ、500床を超える総合病院同士の一体連携は、全国にも例がなく、画期的であり、今後両病院の連携協力体制を発信するため研究会をオープンなものとし、年内に研究の成果をまとめます。

**問** 病院事業の民間に委ねる業務の可能性について

て、民間に委ねるものは民間に移行してはどうかと考える。例えば、高齢化の一途をたどり続ける現代にあつて民間医療機関と連携した「安心安全」な搬送、輸送委託を検討してはどうかと考えるが、当局の見解を問う。

**答** 経営改善を目的として、輸送件数、専任運転手の確保など困難な状況となる場合、今後業務の委託化を進めていくほか、他の医療機関と連携した業務改善も検討します。

いじめ対策について

**問** 「コミュニケーション」の手段として音声通話よりも双方向アプリを活用し、中学生からの友だち関係やいじめなど困りごとに関する相談受付を実

施し一定の効果を上げておられる。SNS等を活用しスクールカウンセラーの助言等総合解決策を図ることで、相談しやすい環境づくりを進めいじめ対策をさらに強化してはと考えるが、当局の見解を問う。

**答** 他市の取り組みを十分研究し、相談しやすい環境や窓口についてどのように考えていくべきか検討します。

仮称・神田スマートインターチェンジ設置について

**問** スケジュールについて問う。

**答** スマートインターチェンジの設置効果・必要性調査・検討のための可能性検討調査を含め、約2年程度を見込んでいます。以降準備段階調査、整備計画決定、連結許可等の手続きを経て事業実施となります。

市長という特別職について藤井勇治個人の意見について



西尾 孝之 (無会派)

**問** 長浜市民に対して市長はどういうふうな人材であるべきかについて問う。

**答** 市政の推進に全力を尽くすというのが私の使命でございます。

**問** 職員に対して、市長はどういう市長であるべきかについて問う。

**答** 職員の能力を信じて困難なことも任せ、何かあったときには私が責任を取ることが信条に職員に接しており、職員とともに歩んでまいります。

**問** 市長のようになりたい子どもたちに思わせ

るような、信頼を抱いてもらえる市長でないと思ふ目だと思える。市長という立場は、子どもにとってどういふ存在であるべきかについて問う。

**答** 子どもたちに、自然豊かで歴史深く、文化の薫り高い長浜を受け継いでいくということが、市長に与えられた課題、使命であると思っております。

市長の不倫問題の認識について

**問** 事実無根、事実誤認と言つのであれば、何かその証拠があるのか問う。

**答** 地方自治法132条に「議会の会議又は委員会において、他人の私生活にわたる言論

はしてはならない。」と、うたわれております。また、私の相談する弁護士は、一切の法律違反、道義違反は犯していないと話をいたしております。

**問** 市民から名誉毀損で訴えられているが、今後、この裁判をどのように考えているのか問う。

**答** 集団で提訴されたとおっしゃって、はや3か月半経過いたしております。今においても、私のところに訴状すら届いておりません。したがって、果たして裁判として成り立つのかどうか、極めて疑問を呈しているところでございます。

放課後児童クラブについて



佐金 利幸 (政友会)

**問** 常勤の職員が減っていることについて聞

**答** 毎日勤務する常勤

の支援員、週2回から4回勤務する非常勤の支援員、長期休業期間のみ勤務する支援員とシルバー人材センターから派遣される支援員で運営しています。

ここ数年、常勤の支援員が減少していることから、賃金や手当を改定するとともに、支援員に対する支援体制を強化し、雇用の確保と離職防止に努めております。

長浜中央公園について

**問** 将来、長浜新川本川がここを通る際は、長浜

中央公園も見直すか聞いているが、もったいないではないか聞

**答** 正確な川の線形は

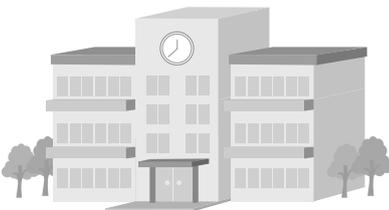
未定であり、整備の具体的な内容や時期は明らかになされていません。

長浜中央公園の移転予定地周辺に本川が及ぶことも将来的には考えられるため、予想されるエリアにおいては暫定的、仮設的な整備のごとびんが

**問** 市民会館の売却については、地元市民の理解を得ない状態では話が進まないか聞

が再度聞

**答** 市の考え方(平成25年解体付き売却方針)をしっかりと伝えるとともに、地元の



方々の思いやご意見を丁寧を受け止め、跡地活用に理解をいただけるよう取り組んでまいります。

長浜北高の跡地について

**問** 今後の活用方法は

決まっているのか聞

**答** 地域の方々にと

て、大きな存在で愛着があった場所です。その活用については、市民の方々の意見をお伺いし、県との調整にあたってまいりたいと考えております。

市立長浜病院の現状について



藤井 登 (改革ながはま)

**問** 医師不足の現状について聞

**答** 経営が安定し、働

きやすい環境の下、質の高い医療が提供できる理想的な医療体制に必要な医師数は、少なくとも120人から130人程度と考え

ています。しかしながら、限られた医療資源のなか、医師の都市部への偏在や診療科の偏在があるなど、地方の病院は厳しい状況にあるため、当院では医師確保を最重要課題と位置付けています。

小児科、消化器内科をはじめ、どの診療科も市長に協力いただきながら医師確保に奔走しています。中でも研修医や若手

このように当院で育った研修医が一旦離れることになっても、繋がっていると考えています。

また、市長と共に大学医局への派遣依頼を行い、関係を築き上げていくほか、市長部局とも連携し、寄附講座の開設や共同研究など積極的なアプローチも必要と考えています。

こうした病院独自の取り組みと並行して、長浜赤十字病院との一体的連携についても進め、湖北医療圏として必要な医療提供体制を確保する取り組みを推進していくことも重要と考えています。



地域実情等に寄り添った  
防災対策について



中川 勇 (無党派)

自治会長には規程で適切な避難誘導の役割もある。市の配慮も必要。

**問** 神照地区の指定避難所は小学校2校と中学校1校の3か所だが、大規模河川が氾濫した場合の災害時には地区住民全体を収容できるスペースはない。また高齢化も進行する中で最寄りでの避難所が求められている。避難所全体の見直し・検討を行う必要性について問う。

**答** 現指定の指定避難所・緊急指定避難場所については、旧市町から引き継いでおり、指定の条件に当てはまらなくなっている所もあることから、地区にお

ける一時避難所も含め、より避難に適した場所の指定を検討してまいります。

**問** 防災行政無線システムは、旧長浜地域では導入から相当期間が経過しており、市民の皆さんからは、いつも聞こえない等の厳しい意見をお聞きしています。

日々の見守りなど福祉

的機能も加味した個別的受信機の高齢者家庭への貸与等を行い、安心安全な生活を供与出来るようにする考えはないか問う。

**答** 高齢者や様々なしようがいがある方などに対して、緊急告知防災ラジオを中心とした情報伝達手段の運用について検討を深めてまいります。

**問** 各自治会では、個人情報取扱の取扱い等の関係から世帯員数が十分把握できていない状況下での防災訓練実施もある。

**要配慮者(高齢者等)** に対しては、災害時に無事を知らせるための旗(バンダナ等)を事前配布し、訓練時にはこの旗を掲げてもらう訓練を行い、要配慮者に配慮した実践的な訓練にはと考えるがどうか。



**答** 要配慮者を地域で支え合う「避難支援・見守り支えあい制度」の普及と共に、地域における要配慮者の把握については、議員紹介の取り組み等も参考にし、実践的な訓練の方法を研究してまいります。

防災対策について



中川 リヨウ (改革ながはま)

**問** 台風21号の影響で市内の一部地域で発生した停電時の対応については、市の対応、電力会社との連携で問題がなかったのか問う。

**答** 台風21号の影響により発生した停電は市内でも広範囲に及び、復旧まで長時間を要しました。

関西電力がシステムの不具合により、停電情報を発信できない状況にあつたため、市として、ホームページや安全・安心メールにより、関西電力からの停電情報を配信させていただいたところです。

電気は毎日の生活の要であるため、今後、情報収集、市民の皆様への情報伝達などについて、関西電力と協議、調整し、停電時の

混乱が最小限となるような対策を進めます。

**問** 災害時に孤立する集落、自治会機能が弱い集落に対するフォローについて、当局の見解を問う。

**答** 市では、孤立する可能性のある集落を含めた初期の災害対応として、住民の皆さんに身近な自治会が準備する資機材や備蓄食料品等への支援として「草の根防災体制育成事業補助金制度」を創設しており、平成29年度は延べ1300件の補助実績があります。

**問** 自治会に加入されている方が少ない少子高齢化地域や余力がない自治会が増えているが、そういった自治会に対しての支援について問う。

**答** 今後検討していきます。

除雪について

**問** 今年度の雪寒対策あり方懇話会で議論が進んでいる地域除雪作業委託補助金の事務手続きの簡素化や拡充について、今年度からの前倒し実施も含めて当局の見解を問う。

**答** 地域除雪作業委託補助事業については、事務手続きの簡素化の要望を頂いており、自治会の事務負担の軽減を図るため、要綱等を改正しました。

また、除雪機械購入補助事業についても市内統一で補助限度額150万円としておりましたが、要綱を改正し、余呉・西浅井・杉野・高時・上草野地域については、補助限度額300万円、補助率2/3へ拡充し、限度台数についても1台から2台に増やしました。

ブロック塀の安全確保と補助金について



鬼頭 明男 (日本共産党)

**問** ブロック塀の所有者・管理者へはホームページ等で周知されているが、所有者・管理者任せでは通学路の安全は守れない。

一軒一軒点検が必要だと考えるが、対応や補助金について問う。

**答** 本市では、大阪府北部地震におけるブロック塀倒壊による事故を受け、通学路におけるブロック塀等を中心とした危険箇所を把握するため、各学校からの情報をもとに、緊急点検を全小中学校区で行いました。

民間所有のブロック塀は、あくまでも所有者の責任で管理されるものと認識していません。

今後も周知に努める

の支給を認めるという画期的な通知を出したが、生活保護世帯へのエアコン設置等の対応について問う。

**問** エアコン設置については、訪問や生活相談の際には、熱中症対策がとりわけ必要な高齢者及びしょうがい者世帯を中心に個別に制度の説明を行い、意思を確認したうえで、設置に向けた指導・支援を行っていきます。

また、支給対象とならない世帯についても、社会福祉協議会の貸付制度の活用等により設置ができるように、借入手続き等の支援や、必要に応じて会計管理の助言指導を行っていきます。

**熱中症対策(生活保護世帯へのエアコン設置支援)について**

**問** 今年、厚労省は、異常気象を踏まえて、冷房器具の購入費(上限5万円)と設置費用

今年、厚労省は、異常気象を踏まえて、冷房器具の購入費(上限5万円)と設置費用

教育環境の充実に向けた取り組みについて



矢守 昭男 (政友会)

**問** 教員の負担軽減については、長浜市内各学校の教育環境は様々で課題も多いと思われる。その中でも教師の負担軽減については、働き方改革の面からも重要な問題と考える。

本来であれば教育委員会でも対応すべきことや、各専門機関からの依頼、それに関わる様々な業務等については改善を行い、教師がゆとりを持って本来の仕事に専念でき、教育の指導環境の向上が図れると考える。

このことから、教育の負担軽減についての課題認識と解決に向けた取り組みについて問う。

**答** 教員の超過勤務の要因として、教材研究や中学校の部活動、そ

他の教育活動等、子どもへの教育に直接関わる仕事以外に、ご指摘があったように各種報告や調査依頼等があります。

今年度「長浜市立学校働き方改革取組方針」を策定し、試行実施する中で、部活動や勤務時間に関する取り組みや学校独自の業務改善を行い、併せて教育委員会として各専門機関と連絡調整を行うことで各種調査や報告、会議の精選を図る

保育士の確保について

**問** 保育士の確保について問う。

**答** 昨年度に「保育士等の奨学金返還支援金」、本年10月には「保育士等の再就職定着応援金」と「保育士等宿舍居住支援事業補助金」の制度を設ける予定です。

この三つの制度が保育士確保対策として十分に機能するように広く周知してまいります。



## 北部地域の過疎化対策について



丹生 隆明 (無会派)

**問** 合併後9年を迎えるにあたり、今日の現状をどのように考えているのか問う。

**答** 南部の活性化と北部の振興を最大の柱とし、特に北部地域に関しては「北部の振興なくして長浜の発展なし」との強い思いで振興策を進めています。

特に人口減少も進んでおり、冬季における除雪や道路交通の確保、防災対策、若者の流出による地域のコミュニティ力の低下などの課題を解決し、地域の活性化を図る必要があります。このため、北部振興局を設置し、局長以下49名の職員を集中配置し、積極的な取り組みを展開しております。余呉地域では活動の拠点として来年7月には「余呉まちづくりセンター」が完成し、地域の皆さんのより一層活発な地域づくりの取り組みを応援させていただきます。

た、本年4月には県内初の施設一体型義務教育学校として「余呉小中学校」を開校し教育の充実を図っております。

**問** 振興に向けての目に見える具体的な計画について問う。

**答** 若者の定住を目的に「地域おこし協力隊」6名を委嘱し、地域課題の解決にもあたっております。

過疎地域自立特別法に基づき指定を受けております余呉地域におきましては、平成27年度に「長浜市過疎地域自立促進計画」を策定し、地域の自立促進、住民福祉の向上、雇用の拡大などをめざす取り組みを進めております。3つの基本方針は①暮らしを支える基盤整備の促進、②地域資源を生かした産業の振興、③安心して住み続けられるまちづくりであり、主な取り組みとしては、冬季道路交通

の確保、農林水産業の振興、環境保全、鳥獣被害対策、教育の振興、見守り支援、防災、地域医療の確保などであり、これらを総合的に進めております。

**問** 人口減少が進行し、独居家庭が増加している。高齢化が進み買い物等もしくくなっている状況であり、生活支援の考え方について問う。

**答** 高齢者の生活支援ですが、弁当、食品、日用品等を配達していただけ買い物支援があり、市が発行している「買い物情報モ

配便」の冊子により、広く情報提供を行っております。地域における買い物支援として、余呉地域では地域づくり協議会が、移動コンビニ「カエル号」を運行され、地域の見守りを兼ねた日常生活用品の販売をされています。さらに、西浅井地域におきましては、生活支援ボランティア団体「スマイルサポート西浅井」による買い物ツアーが試行的に実施されており、市では今後この活動の支援を継続してまいります。

## 議会だより表紙の写真・イラスト等を募集しています！



- ・未発表のもので、写真は長浜市内で撮影したものに限りま。
  - ・編集上、作品のトリミングを行う場合がありますので、ご了承ください。
  - ・風景、人物は問いませんが、被写体の承諾を得たものに限りま。
  - ・①作品タイトルや撮影場所、②採用者のご氏名・③町名等を公表させていただきますので、お知らせください。
  - ・写真・イラスト等データを市議会事務局 (gikai@city.nagahama.lg.jp) へ12月15日までに送信ください。1月15日発行号 (予定) で掲載します。
  - ・採用は市議会広報広聴委員会で決定し、著作権は長浜市議会に帰属します。
- ※今号の表紙：「山門のはさ掛け」(西浅井町山門地先)、西浅井町山門 田中良一さま

# 平成30年長浜市議会 第3回定例会議決結果表

## ●賛否の分かれた議案等

| 議案番号   | 案 件                                 |      | 政友会      |          |         |          |          | 改革ながはま   |         |          |           |         | 日本共産党   |          | 新しい風     |          | 清流      |          | 公明党      | 無        | 無         | 無        | 無        |          |          |         |          |
|--------|-------------------------------------|------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|---------|----------|-----------|---------|---------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|
|        |                                     |      | 佐金<br>利幸 | 千田<br>貞之 | 轟<br>保幸 | 西邑<br>定幸 | 宮本<br>鉄也 | 矢守<br>昭男 | 草野<br>豊 | 柴田<br>光男 | 中川<br>リョウ | 藤井<br>登 | 吉田<br>豊 | 浅見<br>信夫 | 鬼頭<br>明男 | 斎藤<br>佳伸 | 高山<br>亨 | 竹本<br>直隆 | 中島<br>康雄 | 山崎<br>正直 | 伊藤<br>喜久雄 | 多賀<br>修平 | 松本<br>長治 | 鎌山<br>紀子 | 押谷<br>興茂 | 中川<br>勇 | 西尾<br>孝之 |
| 第111号  | 平成29年度長浜市一般会計歳入歳出決算の認定について          | 賛成多数 | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        | ○         | ○       | ○       | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○         | ○        | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        |
| 第112号  | 平成29年度長浜市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について    | 賛成多数 | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        | ○         | ○       | ○       | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○         | ○        | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        |
| 第114号  | 平成29年度長浜市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 賛成多数 | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        | ○         | ○       | ○       | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○         | ○        | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        |
| 第115号  | 平成29年度長浜市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について      | 賛成多数 | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        | ○         | ○       | ○       | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○         | ○        | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        |
| 決議案第2号 | 2025年国際博覧会の誘致に関する決議                 | 賛成多数 | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        | ○         | ○       | ○       | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○         | ○        | ○        | ○        | ○        | ○       | ○        |
| 請願第5号  | 子ども医療費助成制度の拡充を求める請願                 | 賛成少数 | ×        | ×        | ×       | ×        | ×        | ×        | ×       | ×        | ×         | ○       | ○       | ○        | ○        | ×        | ×       | ×        | ×        | ×        | ×         | ×        | ×        | ×        | ×        | ○       | ×        |
| 請願第6号  | 2019年10月消費税率10%実施の中止を求めることについての請願   | 賛成少数 | ×        | ×        | ×       | ×        | ×        | ×        | ×       | ×        | ×         | ○       | ○       | ○        | ○        | ×        | ×       | ×        | ×        | ×        | ×         | ×        | ×        | ×        | ×        | ○       | ×        |
| 請願第7号  | 政治倫理条例の制定を求める請願                     | 賛成少数 | ×        | ×        | ×       | ×        | ×        | ×        | ×       | ×        | ×         | ○       | ○       | ○        | ○        | ×        | ×       | ×        | ×        | ×        | ×         | ×        | ×        | ×        | 退        | ○       | ×        |

※ 表内の「○」は賛成、「×」は反対、「退」は退席を表します。 ※ 議長松本長治は採決に加わりません。 ※ 会派名の「無」は、会派に属さない議員です。

## ●全員一致で賛成可決・認定・同意・可と答申・採択したもの

|       |  |             |                                 |
|-------|--|-------------|---------------------------------|
| 第107号 | 平成30年度長浜市一般会計補正予算（第7号）                 | 第122号       | 長浜市手数料条例の一部改正について               |
| 第108号 | 平成30年度長浜市介護保険特別会計補正予算（第1号）             | 第123号       | ふるさと長浜寄附条例の一部改正について             |
| 第109号 | 平成30年度長浜市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）         | 第124号       | 工事請負契約について ※余呉まちづくりセンター改修工事     |
| 第110号 | 平成30年度長浜市公共下水道事業会計補正予算（第2号）            | 第125号       | 工事請負契約について ※浅井ふれあいグラウンドトラック改修工事 |
| 第113号 | 平成29年度長浜市国民健康保険特別会計（直診勘定）歳入歳出決算の認定について | 第126号       | 市道の路線の廃止及び認定について                |
| 第116号 | 平成29年度長浜市休日急患診療所特別会計歳入歳出決算の認定について      | 第127号～第133号 | 七尾財産区管理会の委員の選任について              |
| 第117号 | 平成29年度長浜市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について      | 第134号       | 平成30年度長浜市一般会計補正予算（第8号）          |
| 第118号 | 平成29年度長浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について     | 第135号       | 損害賠償の額を定めることについて                |
| 第119号 | 平成29年度長浜市病院事業会計決算の認定について               | 諮問第1号～第12号  | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて        |
| 第120号 | 平成29年度長浜市老人保健施設事業会計決算の認定について           | 請願第8号       | 中心市街地への入込客数の増加を求める請願書           |
| 第121号 | 長浜市子ども未来教育基金条例の制定について                  |             |                                 |

## 今後の会議予定（11月1日以降）

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 11月15日(木) 定例常任委員会<br>10時～ 産業建設常任委員会<br>13時～ 健康福祉常任委員会<br>15時～ 総務教育常任委員会 | 12月11日(火) 健康福祉常任委員会、予算分科会 |
| 11月26日(月) 第4回定例会開会日   | 12月12日(水) 総務教育常任委員会、予算分科会 |
| 12月5日(水)～7日(金) 個人一般質問   | 12月17日(月) 予算常任委員会         |
| 12月10日(月) 産業建設常任委員会、予算分科会   | 12月19日(水) 第4回定例会閉会日       |

※（日程は変更される場合があります）  
このほかにも随時、議会運営委員会等が開催されます。詳しくはホームページまたは議会事務局でご確認ください。

## 議会の会議を 傍聴しませんか

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんから選ばれた議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

## 編集 後記

◇高く澄み渡る空に、刷毛ではいたような雲が秋の到来を感じさせてくれます。

今夏の猛暑・酷暑、加えていくつもの大型台風が日本国土を襲いました。とりわけ、台風21号は長浜市に大きな被害をもたらしました。改めて、被害に遭われた皆さまにお見舞い申し上げます。

◇この夏、任期満了に伴い、長浜市議会議員選挙が行われ、新たに選出された議員により出発いたしました。当広報広聴委員会も新しい委員によって構成され、初めての議会だよりの紙面づくりとなりました。

市民の皆さまにより親しんでいただけるよう努めてまいります。今後とも、皆さまのご意見、お声を寄せてください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

◇秋口に夏の疲れが出ると言われています。ご自愛いただき、ゆく秋が充実したものになりますように。

長浜市議会 広報広聴委員会  
TEL 65-6547

市議会のホームページを是非ご覧ください。

<http://www.city.nagahama.lg.jp/category/2-0-0-0-0.html>

